

# TRICOLOR

## 新年度の担当スタッフについて

カテゴリー	担当	
幼児・小1	濱野 正男	
小2	佐藤 敏明	
小3	高山 貴紀	
小4	青木 達也	
小5	豊田 泰弘	
小6	古山 未来 豊田 泰弘	
平日小学生	竹沢 一弘 豊田 泰弘	
幼児・小学生 アシスタント	小野 津春 菊地 健志郎 今川 暉一朗 横塚 拓真	
JUNIOR YOUTH	豊田 泰弘 樋口 圭太 竹沢 一弘 伊藤 卓弥 今川 暉一朗 輔野 光	
YOUTH	今川 暉一朗 豊田 泰弘 伊藤 卓弥 輔野 光	
TOP	代表	二木 昭
	GM	中本 洋一
Papás	GM	茅野 英一
	港北小	浜野 正男
	Over50	瀬長 義男
	Over40	瀬長 義男
	Rec	服部 利崇
	Comp	瀬長 義男
ヨーガ	伊藤 玲子	

## 今、グラウンドでは・・・

### TOP

#### 【新監督就任】

2021年度シーズンも中本がTOPチームGMを担当させていただきます。

新シーズンに向けTOPチームは新監督を招聘しました。関森 悟監督です。今まで選手兼任監督が続きましたが、久しぶりの専任監督就任になります。関森監督は選手時代には国体の神奈川県代表に選ばれたり、監督としては2年前まで神奈川大学体育会サッカー部の監督をされていました。かながわクラブとのつながりは、選手としてかながわクラブに所属していたこともあり、神奈川大学での監督の経験と、選手として神奈川県社会人リーグの経験を兼ね備えた理想的な監督です。

新監督を迎えて、練習も始まっております。今までのかながわクラブの戦い方の良いところを伸ばし、弱点を克服するための、中身の濃い練習を行っています。選手たちも、”兄貴分”である関森監督とコミュニケーションも良くとれており、試合に対する意識変化も現れつつあります。

今シーズンの開幕は5月にずれ込みそうですが、1部残留、いや、上位進出を目指して頑張りたいと思います。今シーズンも応援よろしく願いいたします。

#### 【オフィシャルサイト TOP チームページ】

<http://www.kanagawaclub.com/topteam.html>

(中本 洋一)

## YOUTH

今年もユースを担当することになりました、今川です。よろしくお願ひ致します。昨年のユースと同様、今年も人数が少ないですが、選手みんなは4月10日から行われるクラブユース関東予選を勝ち進むため、精一杯練習に取り組んでいます。予選のグループにはヴァンフォーレ甲府など強いチームがたくさんいます。なかなかJリーグの下部組織と戦う機会はないと思うので貴重な経験ができると思います。昨年同様ジュニアユースと一緒に戦うことになるのでユースの選手たちはジュニアユースの選手たちを昨年以上に引っ張って行ってほしいと思います。まずはクラブユース関東予選に向けて精一杯指導していきますので何卒よろしくお願ひ致します。

(今川 暉一朗)

## JUNIOR YOUTH

3月になり延長された緊急事態宣言が解除されて、平日のグラウンドでの活動時間が元に戻りましたが、引き続きマスクを着用しながらといった制約の多い中での活動が続いております。制約の多い状況下ではありますが、3月下旬の春休み期間中には、対外試合を連日組むことができました。好チームと連戦を組むことができ、日頃のトレーニングの成果を試すことができる非常に有意義なトレーニングマッチとすることができました。

ボールを大切にチームで保持することができており、パスの本数

や成功率もかなり上げることができておりました。ボールコントロールの質や、サポートの距離・角度・タイミングもだいぶ良くなってきてはいるのですが、やはりプレッシャー強度の高い相手に対して慌ててしまうシーンが多く見受けられました。

4月になり新年度の公式戦がスタートしております。早速、横浜市長旗杯の1回戦を戦いましたが、残念ながら敗戦となってしまいました。相手は前線に人数を割き、前線にボールをどんどん供給して圧力をかけてきて、ボールを奪われても前線から激しくプレッシャーをかけてきました。切り替えが早い上に球際の強度も高く、セカンドボールも拾われるシーンが多く、終始押し込まれることが多い苦しい展開となりました。結果的に、プレッシャー強度の高い相手に対して、こちらの良い部分を出すことができず悔しい敗戦となりました。一方で、センターバックの2人が1対1や競り合いではほぼ負けることなくしっかりと対応できていたことや、中2のメンバーも非常に良く戦っていたこと、回数は少なかったですが、相手の強いプレッシャーをかいぐり良い攻撃の形を作ることができていたシーンもあり、今後繋がる収穫も多くありました。

今後も公式戦は続きます。目の前の結果に一喜一憂し過ぎることなく、選手たちがより成長していけるように前向きに取り組んでいきたいと考えております。

(豊田 泰弘)

4月からジュニアユース(U-13)を担当する樋口圭太と申します。昨年度に続きかながわクラブで指導をさせていただくことに大きな喜びを感じております。

今年度のU-13は新しいメンバーを加えた15名にて、4月1日(木)より活動が始まりました。私自身も選手たちと同じ中学1年生からかながわクラブの門を叩き、様々なことを学んできました。その経験を生かし、選手たちの成長のために全力で努力して参ります。

1年間、どうぞよろしくお願ひいたします。

(樋口 圭太)

今年度もJunior YouthとYouthカテゴリーのGKコーチを務めさせていただきます。宜しくお願ひ致します。

昨年度は、色々と制限の多い中での活動でしたが、選手たちの成長、進化、何よりサッカーを楽しんでいる姿を見る事が出来ました、嬉しく思います。

今年度も、引き続き基本技術を中心に、地道に取り組んでいきたいと思ひます。

また、ゲーム形式で、判断力(何を選択するか)に磨きをかけ、何時でも主導権を握れるGKを目標に、指導して行きたいと思ひます。

(伊藤 卓弥)

今シーズンより TOP、YOUTH、JUNIOR YOUTH でフィジカルトレーナーを担当します輔野です。よろしくお願ひいたします。

私自身 YOUTH OB であり、その後も小学生スタッフとしてこのクラブに関わらせていただきました。今回はトレーナーとしてクラブに関わることができ、大変嬉しく思います。外部の高校サッカー部で約 1 年間トレーナー活動を勉強した成果を還元できるように全力を尽くしたいと思ひます。怪我人のコンディショニングはもちろん、選手たちの傷害予防、パフォーマンス向上、そして負けないチーム作りの力になれるように頑張っていこうと思ひますので、よろしくお願ひいたします。

(輔野 光)

## 小 6

6 年生を担当させていただくことになりました古山です。よろしくおねがいします。昨シーズンは、アシスタントとして練習や公式戦に帯同していましたが、今シーズンよりメインコーチとして担当することになりました。

昨シーズンの選手たちを見ていて、とても明るく、普段の練習から楽しい雰囲気を取り組んでいると思ひます。その良さはこの 6 年生にしかない素晴らしいものだと思ひます。

その雰囲気を大切にしながら、

① on the pitch

→ サッカーの技術向上、上手くする

→ グランド準備・片付け

② off the pitch

→ 礼儀・挨拶

→ 時間管理

→ 荷物の整理整頓

このようなことを徹底しながら中学生に向けた指導をしていけたらと考えています。1 年間よろしくおねがいします！

保護者の皆様には、日頃よりクラブの活動に対し、ご理解・ご協力をいただきありがとうございます。また、審判をサポートしていただきありがとうございます。引き続き宜しくお願ひいたします。

(古山 未来)

## 小 5

今年度小 5 を担当させていただくことになりました豊田です。今年度一年間宜しくお願ひいたします。人間としても、サッカー選手としても大きく成長するこの年代の指導に携わることの重要性を改めて感じながら、決意を新たに組み組んでまいります。

この学年は、平日練習で担当しておりますので、選手たちの特徴は掴んでおり、どのような雰囲気でもそのようなことが必要なのかは、イメージできております。普段の取り組みとしては、選手たちの自立を促し、この学年ならではの楽しい雰囲気を大切にしつつ、個々の良い部分をさらに伸ばしていけるよう組み組んでまいります。高学年となりサッカーの本当の楽しさを理解してもらうために、多少厳しいことも言っていくかなと思ひます。結果

はその先についてくると考えております。

保護者の皆様には、日頃よりクラブの活動に対し、ご理解・ご協力をいただき誠にありがとうございます。引き続きクラブとご家庭とがより連携し、選手が伸び伸びとサッカー出来る環境を作っていきたいと考えております。引き続き感染症対策を取りながらの活動となりご不便をおかけいたしますが、何卒宜しくお願ひいたします。

(豊田 泰弘)

## 小 4

今年度 4 年生を担当させていただくことになりました、青木達也です。サッカーを通して子供達の成長の手助けができるよう精一杯努力して参ります。新型コロナウイルス感染症の感染拡大が収まらない中での活動にはなりますが、サッカーができる環境に感謝をしながら楽しくサッカーに取り組んでいきましょう。1 年間よろしくお願ひいたします。

(青木 達也)

## 小 3

今年度 3 年生を担当させていただくことになりました高山 貴紀(たかやま よしのり)です。今までは埼玉や神奈川のサッカーチーム、スクールで指導をしておりました。新たな環境なので分からない部分が多々ありますが、指導や運営またその他ところでご指導いただければ幸いです。未熟ではございますが、選

手・クラブのために精一杯努めてまいりますのでよろしくお願いいたします。

(高山 貴紀)

## 小 2

### 【ご挨拶に代えて】

今年度、2年生(U-8)カテゴリーを担当させていただくことになりました。2回目の緊急事態宣言は解除されたとはいえ、まだまだ、学校から保護者のグラウンドへの立ち入りの許可が出ていません。クラブとしては、最低限子どもたちの活動ができることをよしとせざるを得ない状況です。明けない夜はありません。子どもたちにもまだまだ不便な思いをさせることがあると思いますが、早期の新型コロナウイルスの終息を見据えて、今、私たち(親子共々)がしなければならないことを、粛々と行うようにしましょう。

### 【楽しくなければ…】

かながわクラブのグラウンドでは、子どもたちが嬉々としてボールを追いかける姿が見られます。いずれはプロのサッカー選手になってほしいと願う保護者の方も多いと思いますが、この年代で大切なのは子どもたちが「サッカーは楽しい、サッカーが大好き」と思えることです。好きでなければ、積極的に取り組むこともできませんし、長続きすることはありません。この積極的な取り組みと継続性がサッカー(に限らずあらゆる分野)の上達には不可欠な要素なのです。

サッカーの楽しさ知り、サッカーが大好きになることが、サッカーのプロ選手への道の第一歩といっても過言

ではありません。そこで、普段の練習には、ゲーム的な要素を取り入れ、人と競う楽しさ盛り込みながら、朝から晩までボールと遊んでいられるようなサッカーが大好きな「サッカー小僧」をたくさん育てたいと常々思っています。

### 【ボールにたくさん触れる…】

この年代の子どもたちにとって、自分とボールという関係性しか理解できません。つまり、ボールを持ったら、誰にも渡したくないという気持ちが強く表われます。本能と言ってもよいでしょう。チームの仲間であってもボールを奪おうとすることすらあります。こうした子どもの特性を利用して、この時期にはたくさんボールに触れさせることを主眼とします。

勿論、単に本能に頼るだけではありません。子どもの心身の成長度合いからしても、神経系の発達が著しい時期ですので、ボールに多く触れることで神経が刺激され、活性化します。柔らかなボールタッチであるとか細かなドリブルなどを身につけるのに最適な時期なのです。

### 【お団子サッカーも OK!?!】

子どもの本能と成長度合いからして、この時期の子どもたちのサッカーがお団子サッカーになることは必然です。ボールを渡したくない、ボールに触りたいと一つのボールに群がります。それは、ある意味想定内の現象で、子どもにとっては麻疹みたいなものです。通過儀礼と言っても良いでしょう。子どもたちは、お団子サッカーを一度は経験し、成長していくものです。大人の目線では、「パスを出せばいい

のに…」とか「グラウンドを広く使えばいいのに…」と考えがちですが、パスを出す意味やグラウンドを広く使う意味を理解させる前に、子どもたちにはボールに多く触れることをさせなければなりません。

やがて、成長して、サッカーに対する意識が高まれば(サッカー脳が育てば)、パスを出すことやグラウンドを広く使うことは自然にできるようになります。この年代では、チームの勝利よりも個人を重視して、個々の技術の向上、何よりもボールコントロール、ボールタッチを鍛えることをしなければなりません。

### 【仲間を大切に！】

個人を重視とはいえ、サッカーは一人ではできないことを忘れてはなりません。チームの仲間がいて、相手(敵ではありません)チームの仲間がいて、審判がいて初めて試合が成立するのです。仲間を見下すような言動や仲間に対する乱暴な言動は厳に慎まなければなりません。個人の技術の向上が主眼ではありますが、我が儘な選手を育てるつもりは毛頭ありません。かながわクラブでは、サッカーの技術の向上と共に人間としても成長してほしいと願っています。

いずれサッカーに対する意識や考え方が成熟するにつれ、仲間と協力する大切さや仲間が何を考え、そして、何を欲しているのかを考えながらサッカーをすることを求められるようになります。サッカーの上手下手で人間としての価値が決まるわけではありませんし、サッカーさえ上手ければ何でも許されるということもありませんから…。

### 【ミスを恐れず、考えながら…】

最後に、ミスを恐れないことです。サッカーは手ではなく主に足でボールを扱うスポーツです。必然的にミスも多くなることを理解しなければなりません。ミスを恐れてチャレンジしなければ、上達は望めません。ですから、グラウンドは常にミスが許される環境でなければなりません。ミスを恐れるあまり(指導者の叱責が怖くて)、子どもたちが消極的な取り組みに終始するようでは困ります。チャレンジしたうえでミスは大歓迎なのです。

チャレンジする際には、意図も大切です。一か八かとか闇雲に…というプレーはお勧めできません。ミスしても「なぜ、そのプレーを選択したのか？」を説明できることが理想です。考えることは習慣ですから、普段から「なぜ？ どうして？」と考えることを心がけましょう。

以上のことを、サッカーを通じた活動の中で、手を替え、品を替え、子どもたちに伝えていきたいと思えます。宜しく、ご理解、ご協力を頂ければと思います。

(佐藤 敏明)

### 幼児・小1

今年度の幼児・小1を担当いたします浜野正男です。1年間よろしくお願い致します。

昨年はコロナ禍にあって、港北小での活動は1年間すべてを保護者見学なしで行うことになってしまいました。お子様の成長過程はサッカー以外の様々な場面で気付くことができますが、サッカーで楽しそうに遊

んでいる様子を毎週見ていただけなかったことはとても残念なことでした。

2度目の緊急事態宣言が解除され、4月を迎えた子供たちは、新しい生活に大きな期待を抱いていることでしょう。しかし、港北小では、引き続きコロナ対策を継続しながらの活動となるため、保護者皆様には毎回の送迎と健康チェックシートの記入・提出にご理解、ご協力をお願い致します。

(浜野 正男)

### 小学生アシスタント

新年度、幼児・小学生をアシスタントをさせて頂く、横塚拓真です。昨年度、9月頃からアシスタントをさせて頂いておりました。

子どもたちにサッカーを大好きになってもらう為に、一生懸命サポート致します。

1年間よろしくお願い致します！

(横塚 拓真)

### Papas

#### 【Papas スタッフ新体制】

Papasもコロナ禍での新年度が始まりました。今年度からPapas Staffも以下の新体制になります。

■GM 茅野英一

■港北小担当 濱野正男

■県リーグ参加チーム

Rec 担当 服部利崇

Comp 担当 瀬長義男

■市シニアマスターズ参加チーム

Over50 担当 瀬長義男

### Over40 担当 瀬長義男

県リーグと市シニア参加チームの代表とOver50担当を、茅野から瀬長へと世代交代しますが、ここ数年、実質的には瀬長が担当してきましたので、その意味で実質的な変更ではありません。茅野はPapas GMのみを続けます。

皆さま、新体制をどうぞよろしくお願い致します。

我ら壮年(一部老年(笑))サッカーカテゴリーPapasも、コロナ禍の中ではありますが、感染対策を十分に講じながら、怪我のないサッカーを楽しんでいきたいと思えます。時に公式戦で参加者不足となりかねない試合もあります。仕事や家庭と優先順位の高い事柄と重なることもあろうかと思えますが、文字通り万障を繰り合わせての参加をお願い致します。

(Papas GM 茅野英一)

### 【50代県リーグ参加チーム創設へ】

Papasという壮年カテゴリーをかながわクラブに創ったのは平成12年(2000年)の6月でした。小学生高学年カテゴリーのゲームに混じってボールを蹴っていた小学生のお父さん達に声をかけ、クラブの許しを得て、高学年の後の1時間の港北小のみの活動、これがPapasの始まりです。1年後には試合がしたいというメンバーの声を受け、ユニフォームを作り、近隣チームとのフレンドリーマッチを始めました。公式戦に参加したいというメンバーの声を受けて、平成17年度(2005)から県シニ

アリーグ四十雀(40代)4部に加盟し、その年に4部準優勝しました。参加者が19年度(2007)には34名にのぼることから、翌18年度(2006)にはRec&Compという2チーム体制を創りました。チームの運営方針は、年齢、体力、技術力などによるセレクションは行わない、参加したら必ず試合に出場してもらうというものでした。それはPapassの方針、かながわクラブの理念でもあります。しかし、2チームになったことから、リクリエイトを求めるRecとより競技志向のCompとに、参加者本人の意思に拠るとはいえ、二つに区分されることとなりました。

県リーグ参加から既に16年経ち、メンバーも歳をとりました。40代が50代、60代になってしまいましたが、年齢相応の県シニアリーグ五十雀に加盟したいという強い声が会ったにもかかわらず加盟できませんでした。詳細は省きますが、加盟チームには、グラウンド提供義務があり、それを果たせる見込みが全く無かったからでした。その結果、50代県シニアリーグ参加チームを創ることはPapassの悲願となりました。

それが、グラウンド確保の見通しが立ち、五十雀加盟の悲願が現実のものになろうとしています。そこでPapassの中に「50代県リーグチーム創設準備委員会」を立ち上げ、加盟に向けて準備を進めていくこととしました。そうはいつても、現実に参加できるのは、早くとも令和5年度(2023)になるのではないかと見込まれます。しかし、Papassの未来が大き

く広がることを間違いありません。

50代県リーグチームの創設には、1点のみ、懸念があります。それは、現在のRecの年齢構成です。新年度のRec27名中14名が50代で、2年後には23名が50代になり、40代は僅か5名となります。Recの50代が50代県リーグチームに移ってしまうと、Recが無くなってしまいます。いいえ、Rec&Compという県リーグ2チーム体制が1チーム体制になるということは、Compがセレクション無しのリクリエイトを求めるチームになる、即ちCompがRecになる、言い換えればCompが無くなるということです。Compが無くなると競技志向のメンバーの受け皿も無くない、これまでの輝かしいCompの戦績も空虚になってしまいます。何としても40代県リーグ参加2チーム体制を維持しましょう。そのためには、40代を集めましょう、増やしましょう。40代のお父さん達に壮年サッカーの楽しさを伝えて仲間を増やしましょう。

(Papass GM 茅野英一)

### 【50代県リーグチーム創設準備委員会】

楽しく安全にサッカーを楽しみ、壮年人生を豊かなものにしたいというクラブ員の皆さんの願いを形にすべく努めたいと思います。メンバーは、服部、高橋、田近、宮崎の4人です。皆さんの意見を聞きながら進めていきます。活動日などの機会に、お気軽にお声がけください。メールでのご意見・ご質問も歓迎です。

(準備委員会・服部利崇  
hattr.t1@gmail.com)

## ヨーガ

### 【今年度もよろしくお祈りします】

海外に行くことがままならず1~2年に一度は行っているインドへのヨーガ修行に行くこともできません。インド好きの私としては「インドが足りない。」状態は結構つらいものなのだということが実感できる毎日です。

そんな中でインドとZoomでつながってヨーガのワークショップを受けることができるという話を耳にしました。コロナの影響による今年限定の措置ということです。心ひかれはしたものの、最初は「やっぱりインドに行かないとあの雰囲気は味わえないのでは。」と思いあまり乗り気ではありませんでした。

そんな中で、ある晩、夢の中に私がヨーガの指導を受けて大変お世話になった先生が出てこられたのです。そしてなんと「私と一緒にこのワークショップをうけましょう。」と誘ってくださったのです。夢の中の話ではありますが、なぜか私は目が覚めるとすっかりこのワークショップを受ける気持ちになってしまっていました。

「そんな？」という根拠でしたが仕事をやりくりし沢山の方々のご協力のもと、このワークショップを受けることとなりました。今は週に2日、一日あたり8時間程Zoomでインドとつながってヨーガの勉強をしています。これがこのあと3か月続きます。

制限された中とはいえZoomではインドの先生と1対1で話をするこ

もしっかりとでき充実した時間となっ  
ています。

コロナ禍で落ち着かない中迎える  
新年度ですが、だからこそ、新鮮  
な、習いたてのヨーガの知識も含め  
て楽しいヨーガレッスンとしたいと思  
っております。

皆様、今年度もどうぞ宜しくお願い  
致します。

(伊藤 玲子)

**伊藤玲子先生のCD 新発売！**  
**聴く！グナヨーガ**

聴く！  
グナヨーガ  
チェア

収録時間：52分  
ポーズ写真入りブックレット  
8ページ

聴く！  
グナヨーガ  
フロア

収録時間：59分  
ポーズ写真入りブックレット  
12ページ

★お買い求め方法  
 ①以下の薬局の店頭でご購入いただけます。  
 光和薬局 神奈川区片倉5-5-1  
 ※地下鉄片倉町駅前のARビル1階  
 TEL: 045-482-2215  
 坂田薬局 神奈川区三ツ沢中町7-9  
 ※地下鉄三ツ沢下町駅3番出口を右に出て、  
 徒歩5分  
 TEL: 045-321-3653  
 ②以下のグナヨーガ公式サイトからご購入いただけます。  
<http://www.gunayoga.com>  
 ③アマゾン (amazon) からご購入いただけます。  
 ④アイチューン (iTunes) からご購入いただけます。

**各1575円 (税込) 販売中**



伊藤 玲子 先生

**日本テレビに出演**



**YOKOHAMA**  
**ANDO**  
 SPORTS

アンドウスポーツ

## 内田泰嗣税理士事務所

有限会社トップガン (ワンストップサービス)

税 理 士 内 田 泰 嗣

TEL/FAX 045-431-0408 〒221-0014 横浜市神奈川区入江 2-19-11 大口増田ビル 203号